



志津中だより

Shizu Junior High School News

9月号

令和8年9月1日発行



志津中学校 5 本柱

1. 挨拶をする
2. 清掃を一生懸命にする
3. 人の話を聞く
4. 時間を守る
5. 歌声を盛んにする

千鍛万錬（せんたんばんれん）

～小さな努力を積み重ねる秋～

校長 村上 武宏

豪雨災害と猛暑に見舞われた夏休みが明け、元気な生徒たちの笑顔が学校に戻ってきました。先日の「千葉豪雨」で被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。まだまだ暑い日が続きますが、秋から冬にかけての生徒たちの成長を保護者の皆様と協力しながら支えていきたいと思ひます。これからもよろしくお願ひします。

7月に、4年に1度開催されるサッカーの祭典ともいえる FIFA ワールドカップ大会が行われました。今回は、スペインが前回大会覇者のアルゼンチンを破り2度目の優勝を果たしました。圧倒的なボール保持率で失点を抑える伝統的なスタイルは、見ごたえのある完成度の高さでした。そのスペインで最も輝いていた選手の一人がラミン・ヤマルという19歳の選手です。彼の成長の速さは驚異的で、サッカークラブ「FCバルセロナ」でのプロデビューは、わずか15歳9か月であり、クラブ史上最年少出場を果たしただけでなく、「FCバルセロナ」史上最年少得点者にもなっているそうです。大会後のインタビューでは、「自分のサッカーの試合を両親に観戦してもらえてとても幸せな気持ちになった」と語り、両親への感謝と敬意を表す心優しい若者であることが分かります。そして、「サッカーは、幼いころからずっとやってきて、一番好きなものだから、とにかく好きなサッカーができることを楽しもうと常に思っている」と若者らしいポジティブな話をしていました。また、「メッシなどの歴代のスターと比較されることが目標じゃない。将来は、スター選手と並べて語られる選手になりたい」と更に自分を高めていきたいという逞しさも感じる言葉が並びました。今回のワールドカップは、日本代表選手の活躍も含めて、ベテラン勢だけではなく若手選手の活躍が目を見届ける大会だったように感じます。世界的なレベルで活躍する若者のインタビュー等でみせる受け答えや表情などからは、言い知れぬ人間的魅力を感じてしまいます。自分を信じてたゆまぬ努力を継続して会得したものなのでしょう。ラマル選手の言葉は、目標に向かってひたむきに努力することができれば必ず可能性は広がり、人としての成長にもつながるということを世界中の同世代の若者に発信してくれているようでした。

さて、7月から8月にかけて、3年生にとっては、最後の夏の総体、コンクール、展覧会が行われました。これまで、目標に向かって邁進してきた自信とこれが最後かもしれないという緊張感のある思いが生徒たちの表情に現れていました。結果は、様々でしたが、どの部活動においても、共に活動してきた仲間や先生、親、関わってくれた方々への感謝の思いをもって最後の節目を迎えてくれたものと思ひます。県大会、関東大会、全国大会まで進んだ部活動の生徒たちの誇らしげな表情も印象的でした。最終的には、すべての部活がどこかで負けて終わりましたが、「グッドルーザー（良き敗者：前向きに次の挑戦へ進む姿勢）」という言葉がぴったりのさわやかな姿がありました。これからの人生に部活動の経験を生かしていってくれるものと信じています。

また、関東大会、全国大会に出場した剣道部、ソフトボール部、水泳部は、敗れはしましたが、華々しい舞台を経験することができ、その舞台を用意してくれた人たちへの感謝の思いに気付ける貴重な経験になったことと思ひます。全国大会の剣道の会場で、とても礼儀正しい沖縄県の代表選手がいて、着ていたTシャツに印刷されている「千鍛万錬（せんたんばんれん）」という言葉が目に残りました。これは、江戸時代に活躍した宮本武蔵の言葉で、「心身などをきたえて技を習得するのに3年（千日）かかるが、その技を極めて更に練り上げていくには30年（一万日）かかる」という意味です。夢を掴むということは一気にはできなくて、小さなことを積み重ねることによっていつの日か信じられないような力を出せるようになっていくということだと思います。中学生には難しい四文字熟語だと思いますが、その学校は、少なくとも、小さな努力を続けることの大切さをテーマにしているのでしょう。部活動に限らず、中学校の3年間で習得する基本的な生活習慣や基礎学力等も、生徒たちのその後の人生を豊かにするための土台をつくるものです。本校の生徒たちにも、しっかりと小さな努力を積み重ね、卒業後の人生においても目標に向かって努力を続けることができる粘り強い人間性を培ってもらいたいと思ひます。

秋は、部活動新人戦、合唱祭など生徒たちが活躍する場面が多くあります。また、9月には定期試験があり、10月には前期の通知表を受け取ります。3年生は、自分の進路選択を決定する重要な時期を迎えます。日々の学校生活や学習はもちろん、「千鍛万錬」の気概で、将来の目標に向けて努力を重ねていくと欲しいと思ひます。9月からも職員一丸となり、生徒たちの成長を温かく見守りながら、生徒一人ひとりにとって収穫の秋となるように寄り添って参ります。

「総合体育大会」「吹奏楽コンクール」「印旛郡市中学校美術部展」終了！



どの部活動もその暑さに負けない熱戦が繰り広げられました。勝敗はつきましたが、3年生を中心に最後の一瞬まで一心に戦う姿は素晴らしいものでした。また、文化部において、吹奏楽部が「千葉県吹奏楽コンクール」に、美術部が「印旛郡市中学校美術部展」に参加し、日頃の成果を発揮し、素晴らしい演奏や作品を披露しました。その中でも、陸上競技部、野球部、剣道部、水泳部、ソフトボール部、硬式テニス（クラブ所属）が県大会に出場しました。さらに、水泳部、剣道部、ソフトボール部は関東大会に出場しました。剣道部男子個人戦とソフトボール部は、全国大会でも活躍しました。



これまで、大会等の応援はもちろんのこと、お子様の体調管理、用具やお弁当の準備、試合への送り迎え等、本当にありがとうございました。それぞれが次の目標に向かって全力を尽くせるよう、今後ともご支援くださいますようお願いいたします。

佐倉市の各種行事でも志津中生が活躍しました



夏休み中に行われた佐倉市の行事でも、志津中生が活躍しました。被爆地広島を訪れた「佐倉市平和使節団」には3年生2名が、小中学校の代表が集まって行われた「佐倉市いじめ防止こどもサミット」には2年生1名が、それぞれ学校の代表として、堂々とした態度で参加しました。それぞれが貴重な経験を得ることができました。

〈保護者の方々へのお知らせ〉

合唱祭中間発表会が開催されます ～秋季オープンスクール～

合唱祭本番に先立ち、各学年で行われる中間発表会を、保護者の方々に公開いたします。合唱祭当日は、会場の都合上、保護者の方に参観いただくことができません。ご多用とは存じますが、中間発表会にご参観くださるようお願いいたします。詳細は、後日配布いたしますご案内をご覧ください。



- ♪ 1学年：10月6日（火）1～2校時 9：00～10：05
- ♪ 2学年：10月6日（火）3～4校時 10：50～12：05
- ♪ 3学年：10月8日（木）1～2校時 9：00～10：15

藤本育英会から寄付をいただきました

昨年度末、一般財団法人藤本武弘育英会より佐倉市立各中学校へ1校あたり30万円相当の図書及び楽器の寄贈並びに楽器の修理に係る費用の助成がありました。私たち学校は、様々な形で地域の方々から支えていただいています。



～ 9月の行事予定 ～

- | | |
|--------------------------------|-----------------------|
| 1（火）全校集会 避難訓練 自転車点検
一斉下校 | 14（月）後期教育実習開始 一斉下校 |
| 2（水）3年到達度試験② 給食開始 | 16（水）定期試験返却開始 |
| 3（木）選挙管理委員会 | 17（木）学級優先日 |
| 4（金）全校評議会 | 18（金）合唱祭実行委員会 |
| 6（日）諸活動停止（～11日） | 21（月）『敬老の日』 |
| 7（月）一斉下校 | 22（火）国民の休日 |
| 8（火）学習質問会（1年）
脊柱側湾症二次検診 | 23（月）『秋分の日』 |
| 9（水）学習質問会（2・3年）
生徒会選挙立候補者届出 | 24（木）校内授業研修会（5校時） |
| 10（木）第2回定期試験①給食なし 一斉下校 | 25（金）選挙管理委員会 |
| 11（金）第2回定期試験②給食なし 一斉下校 | 28（月）4時間授業 あゆみ発行 一斉下校 |
| | 29（火）第2回進路説明会 |

